

あさか訪問通信

H30.3月号



入れ歯と上手に 付き合う為に



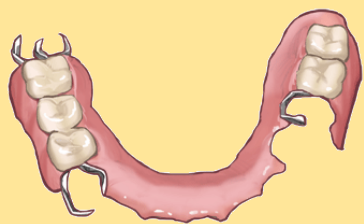
型取りをして、
自分の口に合せて
作ったはずの入れ歯が
何故合わないの？

虫歯や歯周病で歯を失ってしまっても、入れ歯を着けることによって、またしっかりお食事が摂れるようになった方も多いのではないのでしょうか。入れ歯はとても便利ですが、その反面、合わないと様々な悩みが出てきますね。

入れ歯の仕組み



部分入れ歯



部分入れ歯は、床（しょう）と呼ばれるピンクの部分と、バネで安定を図ります。ご自身の歯にバネをかけているので比較的固定されやすいのですが、残っている歯の位置によっては、安定が難しくなる場合があります。そのため、「入れ歯を安定させる為の歯」は、毎日のお掃除と定期的な歯科受診でしっかり残していくことが大切です。

ピタッと
くっつく

総入れ歯



上の総入れ歯は、床が歯ぐきと上あごを全体的に覆うような形になっています。重力に負けないように「吸盤」の原理でくっつけて安定を図ります。そのため、吸盤と同じように隙間が出来たり、乾燥していたりすると落ちやすくなる場合があります。



下の総入れ歯は舌がある関係で、全体的に床を作ることが出来ません。そのため、下あごや舌を動かした時に、一緒に動いてしまったり、浮いてしまったりする場合があります。歯が失われて、歯ぐきだけになった部分を「顎堤（がくてい）」と言いますが、この部分が凸状にしっかり残っている方ほど、入れ歯が安定しやすくなる傾向があります。

入れ歯のトラブルと対処法



入れ歯が痛い

入れ歯を作ったばかりの方に多い悩みです。入れ歯はお口の模型に合わせて作製しますが、お口の中は模型のように固くありません。そのため、噛み方の癖や、歯ぐきの形状によって強く当たる部分が出て、歯ぐきに痛みが生じます。強く当たる部分は入れ歯を削って調整しますが、削りすぎると別の場所が痛くなったり、安定が悪くなってしまういます。回数を重ねて細かく調整することで、徐々にお口に合った入れ歯が出来ていきます。

入れ歯がゆるい

がくてい

顎堤は、歯を失った時から徐々に吸収され、平らになっていきます。そのため、入れ歯と歯ぐきの間に隙間が生じて、「ゆるくなった」と感じるようになるのです。ゆるくなった入れ歯は材料を足して調整することが出来ますが、大きく形が変わってしまった場合には、新製が必要になる場合もあります。（保険の入れ歯は半年に一度、作り直すことが出来るようになっています。）お口の中の状態によっては、入れ歯安定剤や、保湿剤の使用でピッタリ安定することもありますよ！



お口の中は日々変化しています。体調や環境の変化（入院など）で、急に入れ歯が合わなくなることもあります。「入れ歯が合わないな」と感じた時にはそのままにせず、お気軽にご相談下さい。



スタッフの近況 ～写真のご紹介～

ちょっと遅めの新年会。
新しいスタッフの歓迎会も
一緒に行いました♪ in 鎌ヶ谷



医療法人 寛友会
浅賀歯科医院

浅賀・敬デンタルクリニック